

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 11 事業(施設)名: 県民文化ホール

アドバイザー	評価区分	評価内容
五味アドバイザー	「要改善」	<p>ホールについては大小ともに高い稼働率を上げているが、会議室や練習室の稼働率はかなり低い状況となっている。一般への周知を進めることにより稼働率をあげていただきたい。</p> <p>3階会議室横のトイレが非常に狭いので、改修するときにはある程度のスペースを確保した改修をしていただきたい。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>県民文化ホールは県内唯一の音楽に適した音響効果を持つホールとして、県の文化発信の中核拠点施設としての役割を十分果たしていると思われる。開館から34年経過していることから、至る所で施設の老朽化が見られたので、不具合故障について設備の更新等を適切に対応していただきたい。</p> <p>アンケートの回収が難しく、県民のニーズが把握しにくいと言う状況はわかるが、魅力あるイベントの誘致や実施を引き続き検討して欲しい。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>利用者数は増えているが、県民のニーズや利用層ということから事業のあり方を検討していただきたい。県の負担を減らせないか、収支を改善出来ないかという観点から見直しをしていただきたいという意味で要改善と評価した。</p> <p>具体的な改善のポイントは、現在行われている事業の収支については、ある程度見られているが、定員の達成率問題や参加されている年代層の分析がなかなか出来ないということである。もう一度県民のニーズにあっているか幅広い層に利用されているかという点検を、何らかの形で実施して新しい事業展開に結びつけていただきたい。同じような企画に当たっては、他県で成果を上げているものの情報収集等していただき、それを活かしていただきたい。</p> <p>2番目だが、指定管理料は従来からの実績がベースになっているが、他県の例を見ると県に納付されている県もある。収入の方法をどうするかと言うことと同時に、他県より高い運営管理費に目を向けて、他県のやり方、仕組みと比較しながら改善できないか考えていただきたい。</p> <p>収支がかなり複雑になっている。文化事業費は経費率50%くらい、黒字調整のために事業を行うとか、かなりわかりづらいという仕組みとなっている印象がある。このような方法が本当に適切なのか、入場料が無料のものもかなりあるが、入場料の決め方も含めて全体の収支のありかたを見直し、次の指定管理に向けて活かしていただきたい。</p>

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:12 事業(施設)名:防災安全センター

アドバイザー	評価区分	評価内容
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>平成22年度に施設の改修を行ったものの、年間入館者数は東日本大震災のあった平成23年度から減少している一方、平成27年度に起震車を更新して出張講座の利用者は増加していると伺った。</p> <p>また、館内の展示については、新しく情報が更新されたときのために、A4資料をラミネート加工するなど来館者へのきめ細かい情報提供を行おうとする姿勢は理解できた。しかし、実際の展示はそれだけでわかりやすいとは言えず、来館者へ説明が必要であると感じた。</p> <p>また、SNSを用いた情報提供については、フェイスブックを用いて情報のやりとりを行っているとのことだったが、一方で県のホームページにリンクされている防災安全センターのホームページは2013年で更新が止まっていた。</p> <p>指定管理者の組織図を見ても、執行体制や手法の見直しが必要であると感じた。</p> <p>将来的には防災用備蓄倉庫の機能は残し、防災に関する教育・訓練や防災対策の普及・啓発は、他の施設で行うなど、統合を含め検討してもらいたい。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>地震や富士山噴火と言ったリスクは年々高まっており、全国的に集中豪雨等の災害も非常に増えている。こうしたことを考えると、県民の防災意識の向上、対応能力の向上に対してスピードアップが求められていると言える。そういう意味でセンターの活用をさらに促進していただきたいという観点から、「要改善」という評価とした。</p> <p>具体的な改善のポイントであるが、一つ目は、出張講座はそろそろ能力的に限界に近づいていると聞いているので、今後は一回あたりどうやって参加者を増やしていくか、どれだけ人を集めて体験していただくかということになると感じた。市町村や主催者と連携してPRを強化し、特に地域の高齢者などに来てもらう方法を考えていただきたい。</p> <p>二つ目は、来館者数を増やしてもらいたいということである。センターには様々な設備があり、体験ができるので、ターゲットとして、小中学校の生徒に是非体験していただきたい。小中学校は市町村の管轄ではあるが、県事業の一環として見学ができるよう調整を進めていただきたい。</p> <p>三つ目であるが、洪水や大雨対策は非常に重要になってきているように思うので、今後、施設の整備を含めて検討してもらいたい。</p>

五味アドバイザー	「要改善」	<p>来館者の現状について説明を受けたときに、小中学校の利用については学校側の予定で決まるという説明があったが、翌年度のカリキュラムなどを決める際に、あらかじめ学校側に校外学習の候補としてセンターの周知をすることで、ある程度の効果が期待できるのではないか。</p> <p>また、利用者数の多くを占めている出張講座については、効率が悪く、回数に限界があると感じた。来館していただくことによって防災の知識を普及できるならば、来館してもらう方が大きな効果があるのではないか。</p> <p>近県施設の利用者数を見たときに、出張講座を実施していない県においても、我が県より大勢の来館者を迎えているので、そのような方法を模索し、参考にしてはどうか。</p> <p>水害についての防災指導がないという質問をしたときに、災害予報の問題を考える必要があるとの回答であったが、避難の方法や場所、時期などを指導するといった内容もあるので、是非水害についての指導を項目として入れていただきたい。</p>
----------	-------	--

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:13 事業(施設)名:愛宕山こどもの国

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>全体としての利用者数は減少傾向がみられるが20万人近い利用者がある。                      しかし、施設ごとに利用状況に相当差があり、安全面での配慮も必ずしも十分ではないと思う。                      今後は、改修も含めて運営についても優先順位をつけて取り組んでいただきたいという観点から要改善とした。                      改善のポイントは、                      まず1点目は、キャンプ場の稼働率が非常に低い。本来対象とする県内の小中学校の生徒も非常に少なくなっている。                      現状トイレは仮設トイレであり、改修に相当の金額を要するということもあり、キャンプ場については廃止が適当であると考え                      る。                      2点目は、全体が斜面を利用した施設であり、それがこの施設の魅力にもなっているが、斜面ということで土留め等の安全面                      で十分配慮できているとはいえないと感じる。安全面を優先しての改修に取り組んでいただきたい。                      3点目は、遊具もかなり老朽化が見られるが、安全面と利用状況から優先順位をつけて順次計画的な改修を行っていただ                      きたい。</p>
五味アドバイザー	「要改善」	<p>大変広い敷地内の管理は大変なことだと思うが、遊具の老朽化が目立っており、日々の補修も欠かせない状況ではないか                      と思う。                      県としても整備計画を立てる必要があるが、指定管理者としても少額補修について計画的に進めていただく必要があるの                      ではないか。                      次にキャンプ場については、利用率が非常に低く季節的にも利用が限られている。                      トイレ、炊事場をこのままで使用し続けるのは難しいと考えている。                      キャンプ場の利用を停止してはいかがか。</p>

諸平アドバイザー	「要改善」	<p>愛宕山こどもの国については、愛宕山の斜面を活かして年 20 万人前後の方が利用されているとのこと。</p> <p>また、最近では乳幼児を連れた利用があり、オムツ替えの施設や授乳の施設の整備が求められているということだった。</p> <p>また、老朽化した遊具の改修、斜面地の土の流出なども修繕が必要とのこともうかがった。</p> <p>危険のないように運営していただきたいと思う。</p> <p>そして、キャンプ場については、トップシーズンでも利用状況があまりないということで、見学したときもトイレ施設の不具合で仮設トイレで対応されているような状況であった。</p> <p>修繕にも多大な費用が見込まれるとのことであり、キャンプ場については廃止にした方がよいのではないかと思う。</p>
----------	-------	--

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:14 事業(施設)名:愛宕山少年自然の家

アドバイザー	評価区分	評価内容
五味アドバイザー	「要改善」	<p>利用者の構成割合をみると青少年以外の利用者が40%を占めており、これは本来の設置目的から外れている。</p> <p>平成23年度のアドバイザー評価においても、この問題が取り上げられているが、その後も改善されなかった。これは皆様の努力がなかったということではなく、努力はされたのだろうが、本来の利用対象者を増やすことができない状況にあったのだと思った。</p> <p>施設の老朽化も非常に進んでおり、設置場所を考えると改修には莫大な資金が必要になるのではないかと。この際、廃止も考慮して今後の運営を検討していただきたいと思う。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>愛宕山少年自然の家は、外からは分からなかったが、中に入ると老朽化が著しく、構造が複雑な建物のため、雨漏りの原因が雨だけでなく、地下水由来のものもあるとのことであり、原因が特定できないという話があった。</p> <p>また、立地条件から修繕の見通しもたっていないという話もあった。</p> <p>利用者においても、本来の利用対象者である小中学生の利用は少なく、県外の方の利用はあったが、県内の小中学生は県内の他の類似施設を利用するなど考慮することができるということも考え、廃止に向けて検討をして欲しいと思う。</p>
小口アドバイザー	「廃止」	<p>施設全体の利用者が減少傾向にあるということと、施設が本来の対象とする県内の青少年の利用割合40%と低い状況という説明があった。</p> <p>それに対し、施設は築43年と相当老朽化しており、外壁の剥落、原因不明な雨漏りがあるということで安全面からも青少年の施設としては適切ではないと考える。</p> <p>修繕には新築と同様な金額がかかると推測されていると聞くと、この施設は廃止することが適当でないかと考える。</p> <p>この施設の利用者は県内類似の2施設で調整することが可能という感じを印象として持っているし、本来対象とする少年を中心として受け入れれば解決ができるのではないかとと思うので、ぜひ調整を行って欲しいと思う。</p> <p>また、この建物をどうするかと言うことが大きな問題になるが、愛宕山全体としてキャンプ場も含めての活用と言うことを検討されたい。</p> <p>これは一つの考え方だが、あれだけの建物なので、利用目的は別として民間へ建物を譲渡するということも考えられる選択肢ではないかと思う。</p>

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:15 事業(施設)名:産業展示交流館アイメッセ山梨

アドバイザー	評価区分	評価内容
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>アイメッセ山梨は平成18年度から指定管理制度を導入した後、現在、平成26年度から平成30年度は、やまなし産業支援機構が指定管理を行っていて、施設の利用件数も順調に増加傾向にあるとのことだった。</p> <p>2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、必要な修繕を行い、利用者の満足度をより高めることで、2027年のリニア中央新幹線の開業時には、東京から近い産業展示施設として、ますます山梨の魅力を発信し、県内産業の振興と文化の向上に寄与していただきたい。</p> <p>PVやCM撮影利用等、県観光部との連携も上手くいっているようなので、他の部課との連携も引き続き行い、平日の利用率アップとなるよう、情報収集に努め、新たな需要を発掘していただきたい。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>指定管理者の努力もあり、稼働率が向上しており、結果として県への納付金も増えているという点は高く評価できる。</p> <p>今後は、立地や収容力、営業力を活かして、さらに地域貢献度を高めるとい点とリニア開通をにらんで県内施設の中での位置付けを強化するという意味から、「要改善」と評価した。</p> <p>具体的な改善ポイントは、次の3つ。</p> <p>一つ目は、長年イベントの誘致や運営を続けてきて、相当ノウハウも蓄積されてきていると思うので、特に県内企業を相手にイベントを行うことの経営上のメリットを積極的に伝えて、地元企業の利用促進を図っていただきたい。</p> <p>二つ目は、食事や宿泊のワンストップサービスが、利用者の便宜向上に相当役立っているようだが、だいが金額も増えてきて、県の観光産業への影響も少し与えるレベルに成長しているのではないかと思う。そこで、観光推進機構、県観光部との連携を強化し、ここに関連する事業者の間でぜひおもてなしを向上させるということで、県外の施設利用者への山梨県のイメージアップにも努めていただきたい。</p> <p>三つ目は、再三話があるとおり、リニア開通によってアクセスが一段と向上すると思われ、県内の中核施設としての機能はさらに強まるものと思われる。リニア開通をにらみながら、県内で色んな施設があり、色んな集客をしているが、総合的な魅力からアイメッセ山梨を重点的に利用するという全体の見直し、施設全体の状況を踏まえての見直しにも取り組んでいただきたい。</p>

五味アドバイザー	「要改善」	<p>第2、第3駐車場の賃借料について、県が負担している。質問したところ、3年ごとの更新時に甲府市に土地価格等の問い合わせを行っているということだった。しかしながら、この賃借料の妥当性を説明できる資料はなかった。貸し主という相手のあることではあるが、客観的な説明のできる資料は必要だと思う。</p> <p>次に、施設の老朽化が進んでいるということについて、県内に代替施設がないことでもあり、大変機能の高い施設だと思うので、計画的な修繕計画を作成し、利用者を引き留められる施設にしてほしい。</p>
----------	-------	--

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 16 事業(施設)名: 飯田野球場

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>野球の利用に加えて、グラウンドゴルフ等に利用を拡大し、稼働率の向上への努力が図られていることは評価できる。ただ、他の野球場との比較や利用目的の多様化を考えると、料金面については検討する余地があるので、「要改善」とした。</p> <p>具体的には、市町村の野球場に比べて、かなり安い料金が設定されている。立地や機能面を踏まえると、値段を上げる余地が十分あるので、この点について検討をお願いしたい。また、利用目的が多様化し、グラウンドゴルフや撮影での利用となると、一律同じ料金でも良いのか、と考えられるので、利用に合わせた料金体系にできないか検討していただきたい。</p> <p>将来的な話だが、野球人口が徐々に減少することを考えると、今後、グラウンドゴルフの利用割合が増えてくるとされる。利用者の状況を見ると、甲府近隣の居住者の利用が進んでいくこととなるので、将来的には、甲府市への移管の可能性についても検討していただきたい。</p>
五味アドバイザー	「要改善」	<p>大変良く手入れされ、整備されているという印象を持った。</p> <p>修繕計画はないとの説明があったが、大変多くの競技会が開催されており、今後も必要な施設であるということなので、壊れてから直すよりも、計画的に修繕を進めていく方が、施設が維持されていくのではないかと思う。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>現地調査時に見たところ、施設は老朽化が進んでいるものの、指定管理者により施設全体が適切に維持管理されていると感じた。野球やグラウンドゴルフの利用によって、年間の稼働率が91.3%と高く、愛されている施設だと思った。</p> <p>計画的な修繕を行って、冬季の利用促進に努めていただきたい。</p>

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:17 事業(施設)名:文学館

アドバイザー	評価区分	評価内容
五味アドバイザー	「要改善」	<p>大変設備の整った施設であるが、利用率が低いことが残念である。</p> <p>小中学校などの校外授業での活用への働きかけを進めて頂いたり、研究室の夜間の利用率が大変低いので、一般への周知を進めていただきたい。</p> <p>県立図書館や美術館、博物館、科学館などと連携し、共通イベントなど、県内の文化施設を巻き込むような企画を立てていただきたい。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>文学館については、美術館のように作品をその場で鑑賞する施設ではなくて、山梨ゆかりの文学者に興味関心を持つきっかけとなるような施設であるとの説明を受けた。現地説明でも、県民のニーズが多様化する中で、文学館協議会の意見を把握して、アニメとのコラボなど、若年層にも来館するきっかけを作る努力がうかがえた。</p> <p>研究室は、無料化することはできないかもしれないが、そういうことも含め思い切った取り組みで、まず、足を運んでもらうということを検討してみたい。</p> <p>今後も魅力ある教育普及事業や展示を行っていただいて、SNSを用いて情報発信するという話もあったので、来館者増になるよう、是非、良い施設なので検討していただきたい。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>施設は非常に立派で収蔵品も非常に充実していると感じるが、残念ながら、利用者数は多いとは言えない。折角のこれだけの施設なので、より多くの人に利用してもらい、文化向上に繋げるために一段の工夫・努力をしていただきたい。</p> <p>小中学校の中での授業などに取り入れることはできないか。これは、県と市町村の間で、是非、積極的に調整をしていただきたい。</p> <p>観るだけでは非常に魅力も少ないので、観ることと、他のことを組み合わせることによって、魅力づくりができないだろうかということを、考えていただきたい。例えば、読み聞かせをすとか、非常に立派な講堂があるので、関連する映画の上映や演劇とか、色々なイベントと組み合わせることで、魅力をアップさせて来場者増加に繋げるというような努力を是非していただきたい。</p>

		<p>美術館という集客力の高い施設と文学館との連携は、データで見ると、まだ、十分にできていない。指定管理も同一ということなので、共同のPR、共同企画も含めて、是非、相乗効果があげられるよう工夫をしていただきたい。</p> <p>貸し館の来場者数を除いた来場者数からみると、指定管理の人数、それから県職員の合計の人数が、他県の施設よりも少し多いのではないかという印象をもった。詳しい分析をしてみないと分からないので、他県との人員配置の比較をしていただいて、適正人員についての見直しについても併せて行っていただきたい。</p>
--	--	---